

謹啓 皆さまにおかれましては益々御清祥のこととお喜び申し上げます。  
本校の教育活動に対しまして、日頃から深い御理解と御指導を賜り、心より感謝申し上げます。

七月二十七日、二十九日に、佐賀県鳥栖市において行われました、第六五回全国高等学校演劇大会に、九州ブロック代表として出演して参りました。直前まで懸命に練習を重ねた舞台は、屋久島の森林伐採をテーマにした、社会的で重厚なものであったと自負しております。結果は、二位にあたる優秀賞で、八月二十四日、二十五日に、東京国立劇場にて、優秀校東京公演の一つとして、発表することが出来ました。また、本校の作品『ジョン・デンバーへの手紙』は、創作脚本賞も頂くことができました。

演劇部として、全国大会に出場すること、さらにまた、上位四校の一つに選ばれ、国立劇場での東京公演を行うことは、どこの演劇部も思い描く夢の舞台であります。部員たち全員が奮起し、このような素晴らしい結果を残してくれたことに、感謝の気持ちで一杯です。

皆さまには、物心共に多大なるご御支援を頂きました。東京公演に、部員一同で参加できましたのも、皆さまの御支援があつてのことと、深く感謝申し上げます。頂いた御厚情に報いるべく、今後も、更に良い舞台作りを目指して、生徒共々精進したいと存じます。

今後ともなお一層の御指導と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。  
略儀ながら書面にて、お礼の御挨拶に代えさせていただきます。

謹白

令和元年 九月 吉日

鹿児島県立屋久島高等学校 校 長

演劇部顧問

中間 弘  
上田 美和



謹啓

皆様におかれましてはますます御壮健のことと拝察致します。また、私共屋久島高校演劇部に対し、折に触れて、多くの御支援・御協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、私共屋久島高校演劇部は、昨年の県大会、九州大会において最優秀賞、七月に行われた全国大会では二位にあたる優秀賞を受賞しました。また、八月二十四日・二十五日に東京の国立劇場にて開催されました、第三十回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演に出演しました。国立劇場でのリハーサルや上演を通して、私共の未熟さや国立劇場の厳しさを実感しました。また国立劇場のスタッフの方々を始めとして他の上演校はいずれもレベルが高く、とても刺激になりました。上演も今までで最も完成度が高く、高校演劇の聖地である国立劇場で満足していくお芝居を上演できたことが、とても嬉しく、この上ない名誉なことと思っております。上演後は大きな拍手とたくさんのお褒めの言葉を頂戴しました。東京で過ごした日々は、一日一日が濃密で部員一同にとって一生の思い出となりました。温かいご支援の賜物だと思っております。私共のために多くのご支援を下さった皆様には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

結びに、これからも私共屋久島高校演劇部に変わらぬ御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げますと共に、皆様におかれましてはますますの御発展・御健勝をお祈り申しあげます。

謹白

令和元年 九月 吉日

屋久島高校演劇部生徒一同

